第６１回技能五輪全国大会
「電子機器組立て」職種に
当校から４名の選手が出場
学生初の銅賞を獲得

＜ 第 61 回技能五輪全国大会 「電子機器組立て」職種 競技会場にて ＞

写真左から

専門課程　電子情報技術科2年　　永田　享士　選手

専門課程　電子情報技術科2年　　齊木　寛太　選手

応用課程　生産電子情報システム技術科2年　　二宮　拓務　選手

応用課程　生産電子情報システム技術科2年　　蒔田　光生　選手

競技Ⅰに取り組む**二宮選手**

全選手中６位（銅賞）
学生選手１位

　この競技では、初となる学生での銅賞を獲得しました。昨年度、敢闘賞からさらなる努力により、上位の成績を挙げることができました。

競技Ⅰに取り組む**蒔田選手**

全選手中２５位
学生選手４位

　４回目となる本大会では、昨年度の成績から ６ つも順位を上げることができました。日頃からの訓練を積み重ねにより、本番でも実力を発揮できた成果でした。

競技Ⅱに取り組む**永田選手**

全選手中２７位
学生選手５位

　回路設計スキルで高得点を獲得し、昨年度の成績から 12 も順位を上げることができました。最後まで一所懸命に持てる力を出し切りました。

競技Ⅱに取り組む**齊木選手**

全選手中 32 位
学生選手 8 位

初めての大会で緊張もあったかと思いますが企業、学校関係者の見守る中、堂々と挑戦し、最後まで諦めずに頑張りました。

第 61 回技能五輪全国大会「電子機器組立て」職種の競技が、令和 5 年 11 月 17 日(金)～19 日(日)に愛知県国際展示場で行われました。46 名の出場者の中で学校所属の選手は 16 名でした。

初日に実施された競技Ⅲは、当日公開の C 言語によるマイコンのプログラミング、2 日目に実施された競技Ⅰでは、電子装置の回路設計（CAD による回路図作成とプリント基板設計、ユニバーサル基板への配線)、3 日目に実施された競技Ⅱでは、電子装置のハードウェアの修理、C 言語プログラムの修復、測定のスキルで競われました。

このように「電子機器組立て」職種は、電子系エンジニアとしての総合的なスキルで勝負する競技会です。次年度の全国大会へ向け、さらなるスキルアップを目指して、当校の選手達はこれからトレーニングに打ち込んでゆきます。

全国の同世代の若者と、電気・電子系の知識・技能・技術で勝負しませんか？